

授業科目	看護病理学			時間数	30
学 科	看護学科	学 年	2	単位数	1
担当講師	椎葉さより	取得資格	看護師		
		実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	経験年数	7
授業内容	人体の構造・病態生理学の知識を看護に活用する。				
到達目標	1. 人体の構造・病態生理学の知識をもとに、病理学的変化（病変）によりもたらされる症候について理解できる。 2. 1の理解を深め疾病を看護の視点で捉え、健康の保持増進、疾病の予防、健康回復につなげる知識を身につける。				

授業計画

No	授 業 内 容
1	心臓の循環障害の原因・メカニズム・種類・症状および観察のポイントを理解し看護を考えることができる。 講義、グループワーク
2	心臓の循環障害の原因・メカニズム・種類・症状および観察のポイントを理解し看護を考えることができる。 講義、グループワーク
3	心臓の循環障害の原因・メカニズム・種類・症状および観察のポイントを理解し看護を考えることができる。 講義、グループワーク
4	呼吸障害の原因・メカニズム・種類・症状および観察のポイントを理解し看護を考えることができる。 講義、グループワーク
5	呼吸障害の原因・メカニズム・種類・症状および観察のポイントを理解し看護を考えることができる。 講義、グループワーク
6	呼吸障害の原因・メカニズム・種類・症状および観察のポイントを理解し看護を考えることができる。 講義、グループワーク
7	グループダイナミクス活用して各症候の原因とメカニズムを関連付けて理解できる。 TBL・試験
8	消化器障害の原因・メカニズム・種類・症状および観察のポイントを理解し看護を考えることができる。 講義、グループワーク
9	消化器障害の原因・メカニズム・種類・症状および観察のポイントを理解し看護を考えることができる。 講義、グループワーク
10	腎機能障害の原因・メカニズム・種類・症状および観察のポイントを理解し看護を考えることができる。 講義、グループワーク
11	腎機能障害の原因・メカニズム・種類・症状および観察のポイントを理解し看護を考えることができる。 講義、グループワーク
12	腎機能障害の原因・メカニズム・種類・症状および観察のポイントを理解し看護を考えることができる。 講義、グループワーク
13	グループダイナミクス活用して各症候の原因とメカニズムを関連付けて理解できる。 TBL・試験
14	事例をもとに病態関連図を作成できる。
15	グループ発表、まとめ

テキスト 参考書等	専門基礎	人体の構造と機能〔1〕	解剖生理学	医学書院
	専門科目	成人看護学3	循環器	医学書院
	専門科目	成人看護学4	血液・造血器	医学書院

	専門科目 成人看護学 2 専門科目 成人看護学 5 専門科目 成人看護学 8 カラーで学べる病理学	呼吸器 消化器 腎・泌尿器 ヌーベルヒロカワ	医学書院 医学書院 医学書院
成績評価及び 単位認定の方法 履修上の留意点	出席状況、筆記試験、グループワーク		